

## 進路探究学習（キャリア教育）

一人一人の子どもが将来に希望をもち、生き方や進路について考える「進路探究学習（キャリア教育）」をより一層充実し、社会で活躍する魅力的な大人に接する機会を設けるなどして、広い視野から社会や職業を捉える力を養っていきます。

そのためには、小学校段階から、職業体験などを通して、子どもが将来への夢や社会で活躍する自分のイメージを描き、その実現に向けて意欲的に取り組む中で、自己を肯定的に捉えることにつなげていくことが大切です。

### 進路探究学習において育みたい能力

- \* 人間関係形成・社会形成能力
- \* 課題対応能力
- \* 自己理解・自己管理能力
- \* キャリアプランニング能力



ゲストティーチャーから美容師の仕事について学ぶ小学生



進路探究学習オリエンテーリングで、動物訓練の仕事体験する中学生



進路探究学習オリエンテーリングで、プログラミングの仕事体験する中学生



生徒参加型で行われた進路探究セミナー

### 小学校段階

#### 低学年

係や当番の活動の大切さや、地域で働く人などの様子が分かること

#### 中学年

係や当番活動に積極的に関わることなどを通して、働くことの楽しさや、地域で働く人の工夫や努力が分かること

#### 高学年

職場見学・体験や、働いている人の講話等を通して、働くことの大切さや苦勞が分かることや、学んだり体験したりしたことと自分の生活などとの関連を考えること

### 中学校段階

- 将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解すること
- 体験等を通して、勤勞の意義や働く人々の思いが分かること
  - ・ 「進路探究学習オリエンテーリング」への参加（中1～2）
  - ・ 各学校における職場体験学習 等

進路探究学習オリエンテーリング  
H29パンフレット



### 高等学校段階

- 就業等の社会参加や進学先での学習等に関する探索的・試行的な体験を行うこと
- 社会や地域と連携した体験的学習を通して、新たな課題発見とその解決に取り組むこと
  - ・ 進路探究セミナー（高1） ・ 職場体験学習（高1～2）
  - ・ 高大連携事業 等
- 主権者としての自覚を含む社会の形成者として主体的に参画する意識をもち、探究的な学びを深めること